

第10回 R I K O Hティータイムシンポジウム参加 ～ワセダで輝く・ワセダから輝く・アナタの未来～

11月13日（水）、早稲田大学西早稲田キャンパスで行われたシンポジウムに本校女子生徒11名が参加しました。早稲田大学とは明治通りをはさんで向かい同士という環境から、大学でのイベントにお声を掛けていただくこともあります。今回のイベントは、「ライフイベント（結婚・出産・育児など）と仕事を両立して企業で活躍されている」早稲田大学理工卒業生3名の方を講師として、それぞれのワーク・ライフ・バランスについてお話を聞き（第1部）、第2部は参加者からの質問に講師が回答する形で行われました。

「無償の愛は親が与えるのではなく、子どもがくれる」という言葉がとても心に残りました。講師の女性の方はお二人とも企業で研究職に従事されているとのことですが、多忙を極める生活の中でも、**お子さんの存在によって自身が変わった、何よりも子どもとの時間を大切にしたいとおっしゃっていたのが印象的でした。**

男性の講師の方からは、男性が子育てに参加していく上で、**職種によって自分で時間をコントロールすることが可能かどうか**が異なること、夫婦間で助け合う仕組みを工夫したり、**互いの自由時間は尊重する**など、うまくバランスをとっていく方法をお話くださいました。

一方で、会社側も子育て支援体制について積極的に向き合い、整備している様子もうかがえました。

女性の自己実現とライフイベントの問題は、長く社会に立ちほだかる壁ではありますが、今回のお話は女性の背中を押してくれるような、「思い切ってなんでもやってみよう」と高校生に思わせてくれるものでした。

【本校生徒の感想】

昨年度に引き続き、今年度もティータイムシンポジウムに参加しました。

実際に子育てをしながら働く方の体験談を伺い、徐々に社会の制度や周囲の理解が進んできているのだなと思いました。

男性女性に関わらず、子育てなどのライフイベントも充実させながらキャリアを積めるような世の中に变化しつつあると感じました。

